

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH03

作成：渋谷 加津美

日時：平成 29 年（2017 年） 7 月 31 日（水）午後 1 時 30 分 ～ 午後 3 時 00 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：渋谷加津美

講義名：(SH03) ¹「第 5 章戦略の基礎と技術経営の担当部のストーリーを決定する」（2）

提出資料：第 5 章の講義資料の 25 頁～48 頁部分の講義原案

講義内容

1. 概要

第 3 回目（SH03）の講義（研修）を行った。内容は、第 5 章「戦略の基礎と技術経営を学ぶ」について担当部分の第 2 回の講義内容により修正した講義原案を提出、問題意識や疑問点を発表し、打合せを行った。

2. 研究内容

（1）概要

資料「講義原案」の課題部分について質疑形式で行った。

人財育成と管理体制の議論の中で、10 億円の壁の克服に必要な人財育成と「人材」と「人財」の違いおよびホスピタリティ・マネジメントについて再度整理を行った。

（2）人材育成と管理体制について

ベンチャー企業が成長する中で、最初の関所が 30 名から 80 名規模（売上 10 億円）に増加するときにある。起業者一人の思いでは成長に限界があり、その課題克服には、組織作りとその組織をマネジメンとする人財の育成が必要であり、その組織運営こそが成長を成し遂げる技術経営であると理解した。

（3）ホスピタリティ・マネジメントについて

「思いやりの心」や「おもてなしの心」で顧客と対応な関係を継続することが必要であるが、そのままでは、ビジネスにはならない。

サービスとなる価値を提供する契約まで持ち込むことが必要である。

つまり、ホスピタリティからサービス（契約）へ移す戦略の構築が重要となる。

3. 次回までの宿題

（1）第 5 章講義原案の見直し

本日の人財育成・技術経営戦略（ホスピタリティ・マネジメント）などの教育結果を受けて、講義原案の見直しを行う。

（2）経営と技術経営（再）

経営と技術経営の違いについて見解をレポートする。

4. 次回日程

（1）次回日程 8 月 18 日（金）13 時～15 時

（2）参考資料

研究の参考資料として、下記書籍を選定した。（6 月 21 日購入済み）

『技術経営戦略（MOT シリーズ）』、児玉文雄著 オーム社 2007 年 4 月 定価 3,800 円
以上

¹（注）SH01：SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。